

## 第4回 ALSO プロバイダーコース in 千船病院 募集要項

主催:社会医療法人愛仁会千船病院

共催:NPO法人 周産期医療支援機構(OPPIC)

場所:愛仁会千船病院 9F研修室(大阪市西淀川区福町3丁目2番39号)

<https://www.chibune.aijinkai.or.jp/>

日程:第4回 2020年 6月13日(土)、14日(日)

2日間のコースです。第4回と第5回のコース内容は同一です  
(特別講演・オプションチャプター除く)。

定員:30名

参加費:40,000円 ※支払方法は受講可否とあわせて通知します。

**※ 同施設内のグループ参加(特に医師と助産師または看護師のペア)を優先します。**

申込方法:下記URL(Google form)よりお申込みください。

第4回:<https://forms.gle/SkuTBnL85rbGbLtC8>

記入事項不備の場合は申込を受理できません。お申込み後に自動返信メールが送信されません。自動返信メールが届かない場合は、申込みが完了していない可能性があります。携帯メールでお申込みの場合、返信メールが着信拒否されることがありますので、その場合はフリーメールまたはPCメールで送信してください。

ALSO-JapanホームページのALSOプロバイダーコースからも申込みできます。

<http://www.oppic.net/item.php?pn=provider.php>

**募集期間:2020年02月14日(金)00:00～ 2019年03月06日(金)17:00**

(※先着順ではありません。申込期間終了後の申込みは一切受け付けできません)

受講可否のご連絡は3月9日(月)～3月16日(月)の間にメールで送信致しますので、**受講可否を必ずご確認ください。**3月17日(火)になっても受講可否のメールが届かない場合は下記問い合わせ先までご連絡下さい。

### ●注意事項

- ※1 携帯メールは、PCからのメールが着信拒否になっていて届かないことがあります。上記申し込みフォーム内の返信先は、PCメールの入力をお願いします(gmailやyahoo mailなどのフリーメールでも可)。
- ※2 複数の方で同一メールアドレスを返信先としないようにしないでください。一方の方だけに返信が届かないことがあります。

### 【問い合わせ先】

社会医療法人愛仁会千船病院 ALSO千船事務局

E-mail: [also.chibune@aijinkai-group.com](mailto:also.chibune@aijinkai-group.com)



# ALSOプロバイダーコース

～愛仁会千船病院～



Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案した。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会)によって認可され、現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、現在までに、63カ国、16万人以上がALSOコースを完了した。

プロバイダーコースは二日間で行われる。コースの内容は、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースに含まれている。ALSOは分娩室における産科の救急的対処や医療安全を強調している。必須学習内容はマタニティケアにおける安全性、難産、妊娠初期の合併症、妊娠の内科的合併症、早産と前期破水、妊娠後期の性器出血と、症例検討を含む分娩中の胎児監視、妊娠の内科的合併症、そして(以下少人数グループによる実技トレーニングを含む)肩甲難産、補助経膈分娩、骨盤位分娩、分娩時異常出血、妊婦蘇生である。またコースによっては、オプションル・ワークショップとして会陰縫合、超音波検査、出産危機への対処などが追加される。プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合受講者はAAFPの認定する5年間有効の認証を受けることができる。また、プロバイダーコースの講師になることを希望する場合、一日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、全国38の都道府県でコースが開催され、10,670名(2019年11月30日時点)がコースを修了した。参加者は産婦人科医、助産師だけでなく、プライマリケア医、救急医、麻酔科医、小児科医や他科医師、研修医、そして医学生などであり、現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけで維持し続けることが難しい状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域で産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちが教育を受けられる場所を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSO である。

ALSO-Japan 事業執行部

参考) 以下は第3回のコーススケジュールです。今回お申し込みのコースではありません。

第3回千船病院 ALSO プロバイダーコース スケジュール	
2019年06月08日(土) DAY1	
08:00-08:30	受講生受付
08:30-08:40(10分)	オープニング
08:40-08:50(10分)	プレテスト
08:50-09:40(50分)	L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性
09:40-09:50(10分)	休憩
09:50-11:45(115分; 講義30分、症例85分)	E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例
11:45-12:25	ランチ 講義: 11:50-12:20(30分)
	D: Preterm Labor & PROM 早産と前期破水
12:25-13:45(85分; 講義:20分、実技60分)	H: Assisted Vaginal Delivery 補助経膣分娩
13:45-13:55(10分)	休憩
13:55-15:15(80分; 講義20分、実技60分)	I: Shoulder Dystocia 肩甲難産
15:15-15:25(10分)	休憩
15:25-15:45(20分)	オプションチャプター: 第1印象とプライマリーサーベイ~PC3のアルゴリズムを例に~
15:45-16:30(45分; PPH+蘇生講義45分)	J: Post Partum Hemorrhage 分娩時異常出血(講義) K: Maternal Resuscitation 妊婦蘇生(講義)
16:30-16:40(10分)	休憩
16:40-18:10(PPH実技90分)	J: Post Partum Hemorrhage 分娩時異常出血(実技) K: Maternal Resuscitation 妊婦蘇生(実技)
18:10-18:20(10分)	休憩
18:20-19:00(講演30分、質疑応答10分)	特別講演 帝王切開術時の止血方法のバリエーション
19:00-19:05(5分)	1日目クロージング
19:30-	懇親会(自由参加)

2019年06月09日(日) DAY2

07:30-08:00 復習・質問コーナー(自由参加)
08:00-08:10(10分) 2日目オープニング
08:10-08:20 移動
08:20-09:20(60分;講義25分、実技35分) G: Malpresentations プレゼンテーション異常・ポジション異常
09:20-09:30(10分) 休憩
09:30-10:00(30分) C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血
10:00-10:10(10分) 休憩
10:10-12:00(110分;講義30分、症例80分) B: Medical Complications & OB Cases 内科的合併症と症例
12:00-12:50 ランチ 講義;12:15-12:45(30分) A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症
12:50-13:20(30分) F: Labor Dystocia 難産
13:20-13:30(10分) 写真撮影 写真撮影
13:30-14:00(30分) 復習・質問コーナー&試験場設営 質問・復習コーナー&試験会場設営
14:00-16:30(150分) Written Examination & Megadelivery(筆記試験と実技試験)
16:30-16:40(10分) クロージング closing remarks

注)第4回、第5回千船病院ALSOプロバイダーコースとは若干異なる部分があります(オプション  
 チャプター、特別講演など)。